

2020年に向けて「外国語」の授業時間を50時間に拡大
**佐賀県上峰町とレアジョブ
オンライン英会話の業務委託契約を4年連続締結**

WebRTC*1技術を活用したレアジョブの独自システム導入で、利便性とセキュリティを向上

オンライン英会話サービス事業を運営する株式会社レアジョブ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中村 岳、以下「レアジョブ」）は、佐賀県上峰町（町長：武廣 勇平）と、2018年4月1日に、上峰町立上峰小学校におけるオンライン英会話授業の実施に関する業務委託契約を締結しました。



左：締結の様子(左から上峰小学校校長 牟田氏、レアジョブ代表取締役社長 中村、教育長 野口氏)

右：上峰小学校 授業の様子

■ オンライン英会話の導入形態の変化およびねらい

上峰町では、文部科学省の教育再生実行会議第3次提言を踏まえ、2015年度より初等中等教育段階からのグローバル化に対応した教育環境づくりの一環として、外国語活動の中でオンライン英会話のレッスンを開始しています。

2018年3月に本年度のオンライン英会話事業者の選定を行い、昨年に引き続きレアジョブとの業務委託契約を締結しました。次期学習指導要領で小学校5、6年生向けの外国語の授業が35コマから70コマへ拡大することが定められている中、今年度は移行期間として、6月より**両学年における授業数を各計50コマへ拡大**して実施します。これに伴い、担任とALT（外国語指導助手）及び日本人講師が担当する授業は週1コマ45分間独立して行い、それとは別に担任と日本人講師によるオンライン英会話のレッスンを導入する形に変更します。担任、日本人講師、ALTの授業と、担任、日本人講師+オンライン英会話レッスンの授業を組み合わせることで、将来的な70コマ実施へのスムーズな移行と、児童が英語を好きになり、かつ、4技能をバランスよく習得できる**公立小学校における効果的な英語習得のスタンダードモデルの確立**を目指します。

さらに、過去3年間の現場でのレッスン提供の知見を踏まえ、今期より**WebRTC技術を活用したレアジョブ独自のレッスンシステムを導入**することで、レッスン開始までの手間を省き、スムーズにレッスンを行えるようになります。

オンライン英会話サービス提供元のレアジョブは、2015年から文教事業を展開し、2018年4月末時点で小学校から大学などの教育機関180校に導入されるなど『先生の学習デザインをサポートする。』をサービスミッションに、教育現場のICTを活用した外国語学習の実現を進めております。これからも、教育現場との連携を密に行い、児童のさらなる英語力と国際志向性の向上に貢献してまいります。

*1 : Web Real-Time Communications の略。パソコンやスマートフォンのブラウザやネイティブアプリで、サーバーを介さない P2P のリアルタイム通信(音声・データ)を実現するオープン技術。

■ 外国語授業数の変化

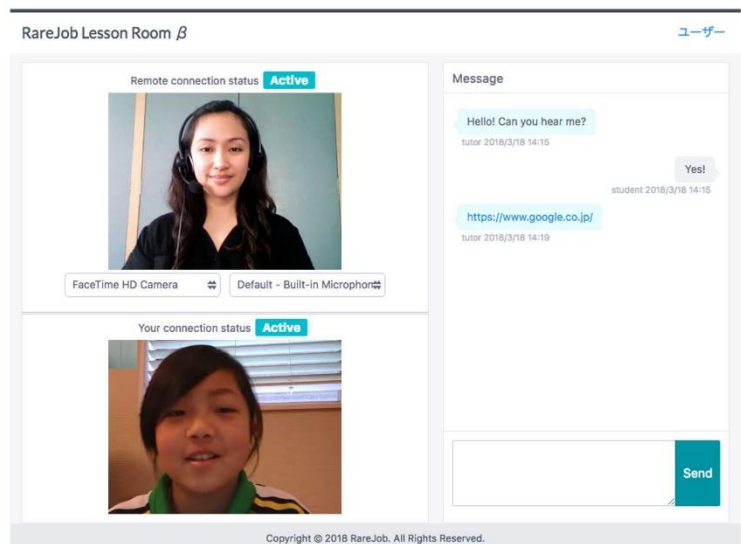
次期指導要領への移行措置として、外国語の授業数を 50 コマへ拡大

年度	学年／コマ数	合計	授業内容
2015年度	6年生／20コマ	20コマ	担任、ALTの授業20分（インプット） ＋オンライン英会話15分（アウトプット）＋準備＆振り返り10分
2016年度	5年生／8コマ 6年生／20コマ	8コマ 20コマ	担任、ALTの授業20分（インプット） ＋オンライン英会話15分（アウトプット）＋準備＆振り返り10分
2017年度	5・6年生 ／各20コマ	35コマ	担任、日本人講師、ALTの授業20分（インプット） ＋オンライン英会話15分（アウトプット）＋準備＆振り返り10分
	5・6年生 ／各15コマ		担任、ALTの授業 45分（インプット＋アクティビティ）
2018年度	5・6年生 ／各20コマ	50コマ	担任、日本人講師の授業20分（インプット） ＋オンライン英会話15分（アウトプット）＋準備＆振り返り10分
	5・6年生 ／各30コマ		担任、日本人講師、ALTの授業45分（インプット＋アクティビティ）

■ WebRTC 技術を利用した新しいレッスンシステムを導入

レアジョブ文教事業部のオリジナルレッスンシステムは、Web ブラウザ上で音声やテキストなどをリアルタイムにやり取りするための新しい通信規格である「WebRTC 技術」を採用することで、Skype 等の通信ソフトのインストールや、ID やパスワード入力が必要だった起動も不要となり、手間なくレッスンを受講できるようになります。

レッスンシステムは、講師と児童が同じ URL にアクセスするだけのワンステップでレッスンをスタートが可能です。また、従来の通信ソフトよりもインターネットの通信容量を抑えることができるため、接続の安定性も向上します。さらに、独自開発のシステムを利用するため、セキュリティについても強固になり、安心してご利用いただけます。



WebRTC 技術を使った新しいレッスンシステムのサンプル画面

■代表コメント

佐賀県三養基郡上峰町 教育長 野口敏雄

オンライン英会話学習に取り組む子ども達はいきいき輝いています。自分のペースでマンツーマンにより行う学習に安心して取り組み、英語に慣れ、自信を持つようになり、英会話への意欲向上へと繋がっています。このことは、中学生になって行われた佐賀県学習状況調査において、英語の正答率が全区分で県平均を大きく上回るという成果となっており、今後もICTを活用した小学校英語教育を推進していきます。

株式会社レアジョブ 代表取締役社長 中村 岳

2015年から今年で4年目となり、長期に渡って上峰小学校の児童の皆様と、英語学習を伴走させていただいていることについて、大変うれしく感じております。今年は、新しい技術としてWebRTCの導入や、ALTの先生だけでなく日本人講師の先生との連携を行うことで、さらにスムーズで多角的な英語学習をご提供できることになりました。公立小学校として全国で初めてオンライン英会話を導入いただいた上峰町教育委員会の皆様と、さらなる連携を取らせていただきながら、より児童の皆様の英語力向上に貢献したいと考えております。

2017年度にオンライン英会話を受講した児童にアンケートを実施いたしました。

以下において、その結果を報告いたします。

■アンケート総評

児童へのアンケートは、オンライン英会話による授業の受講前と受講後の2回、内容は大きく3つの分野に分けて実施いたしました。

【1】言葉や文化に関する気づき

【2】コミュニケーションへの関心・意欲・態度

【3】外国語活動への慣れ親しみ

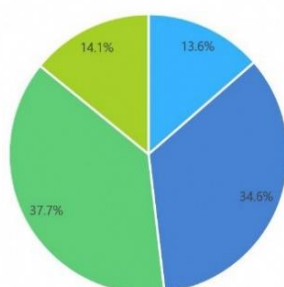
アンケートでは、全項目について向上が見られたものの、受講前と受講後で最も顕著な結果が見られたのは、**外国語への慣れ親しみの項目**の中にある「**英語を使って、自分の好きな事や、したい事を外国の人に伝えることができますか？**」の項目で、47.1%から76.3%と29.2%向上しました。これは、文部科学省が英語教育を通して目指している「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること」について、オンライン英会話による体験が一定の成果を発揮していると考えられます。

■アンケート結果

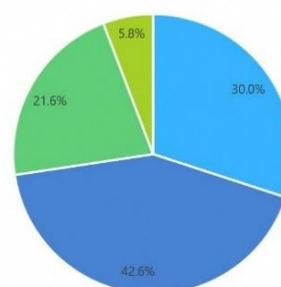
質問：外国の人と英語で話す時に、緊張せず話すことができますか？

「できる」「だいたいできる」の割合が
48.2% → 72.6% と改善

<Before>

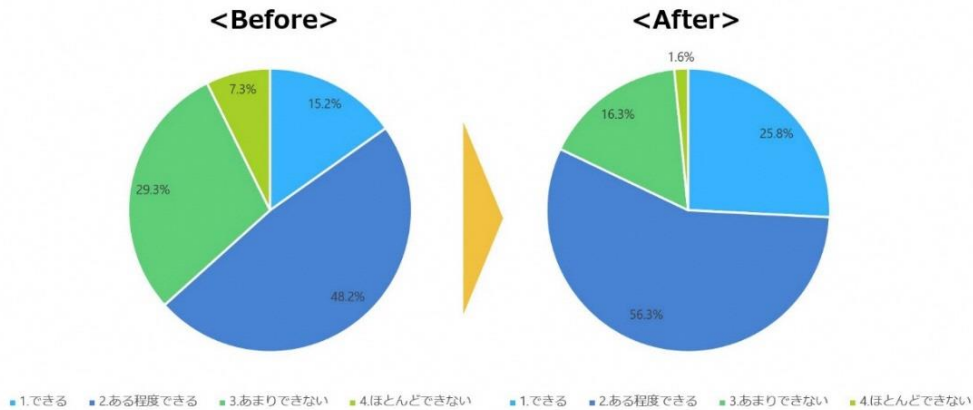


<After>



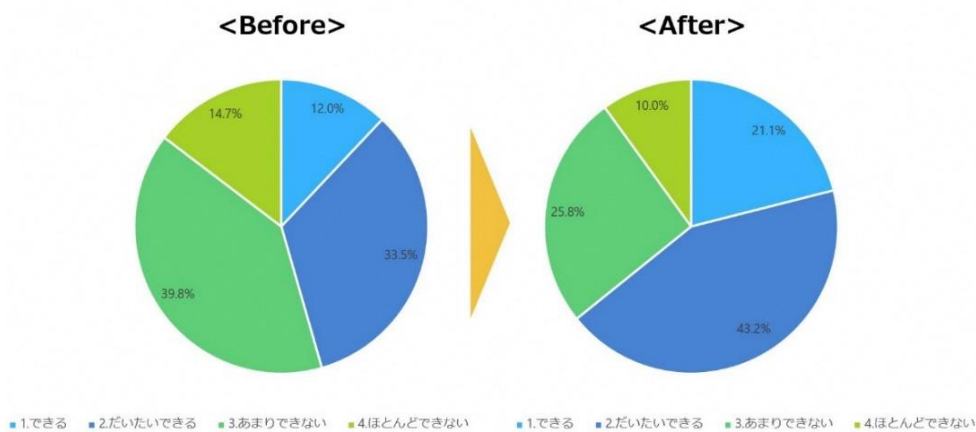
質問：外国の人と話すことで、日本と外国の似ている部分や違いを見つけることができますか？

「できる」「ある程度できる」の割合が、
63.4% → **82.1%** まで向上



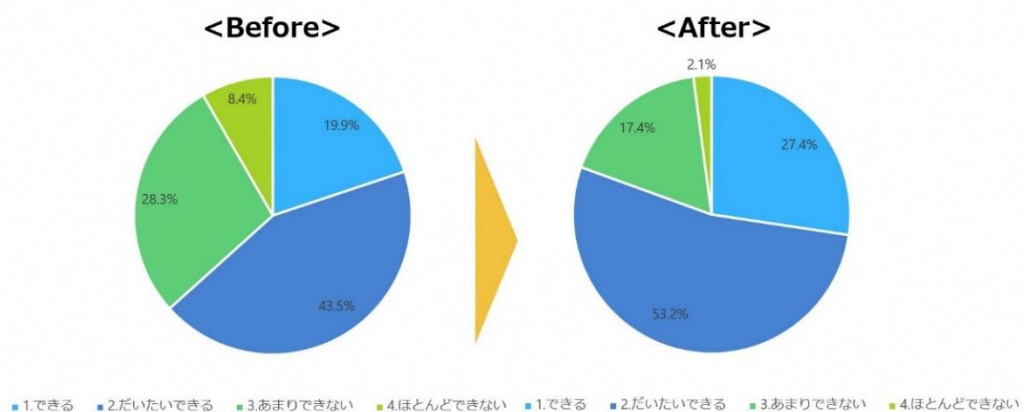
質問：英語を使って、自分から進んで外国の人にあいさつ、話しかけることができますか？

「できる」「だいたいできる」の割合が
45.5% → **64.3%** と改善



質問：外国の人が話していることを、少しでも理解することができますか？

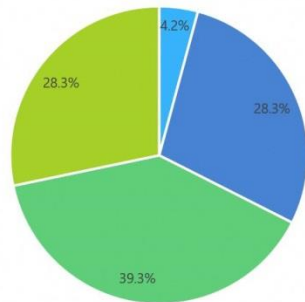
「できる」「だいたいできる」の割合が
63.4% → **80.6%** まで向上



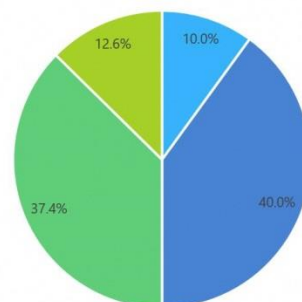
質問：英語を話す時に、自分の言いたい単語がすぐに出てきますか？

「すぐに出てくる」「2, 3秒以内には出てくる」の割合が
32.5% → 50% と改善

<Before>



<After>

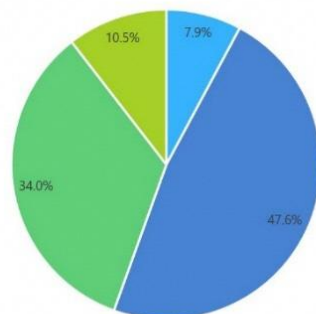


■ 1. すぐに出てくる ■ 2. 2, 3秒以内には出てくる ■ 1. すぐに出てくる ■ 2. 2, 3秒以内には出てくる
■ 3. 10秒以内には出てくる ■ 4. 10秒以上時間がかかる ■ 3. 10秒以内には出てくる ■ 4. 10秒以上時間がかかる

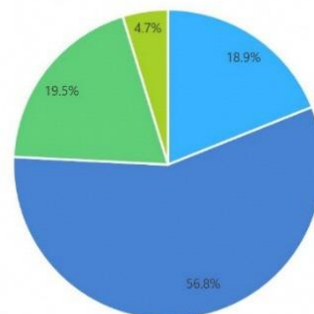
質問：自分の話している英語が、外国の人に伝わっていると思いますか？

「思う」「だいたい思う」の割合が
55.5% → 77.7% まで向上

<Before>



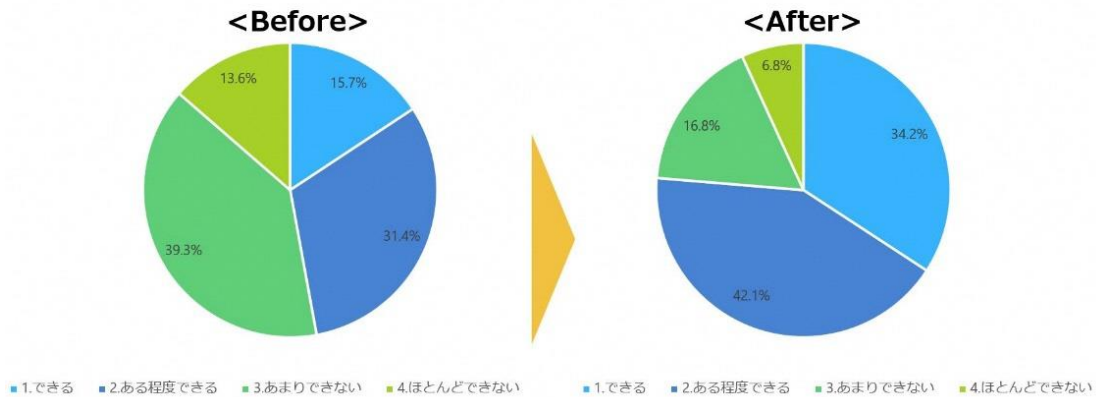
<After>



■ 1. 思う ■ 2. だいたい思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. ほとんど思わない ■ 1. 思う ■ 2. だいたい思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. ほとんど思わない

質問：英語を使って、自分の好きな事や、したい事を外国の人に伝えることができますか？

「できる」「ある程度できる」の割合が
47.1% → 76.3% まで向上



■アンケート実施概要

実施期間：第一回 2017年9月 第二回 2018年3月

質問項目：全16項目

対象児童：オンラインレッスンによる授業を受講した6年生93名、5年生98名

回答数：6年生93名、5年生96名 計189名

【株式会社レアジョブについて】

所在地：東京都渋谷区神宮前 6-27-8 京セラ原宿ビル 2F

代表者：代表取締役社長 中村 岳

URL：<https://www.rarejob.co.jp/>

事業内容：オンライン英会話サービス事業

グループビジョン「Chances for everyone, everywhere.」に基づき、世界中のより多くの人々が国境や言語の壁を越えて活躍できる社会をめざし、マンツーマンオンライン英会話サービスの「レアジョブ英会話」を主たる事業として展開しています。2014年6月には東証マザーズに上場し、現在、60万人(*2)以上のユーザー、1,656社以上の法人企業、180校以上の教育機関など多くの方にご利用いただいております。今後、今までの英語教育の課題を解決し、「英語教育 3.0」という新たな波を作り上げていくことで、サービスミッション「日本人 1,000万人を英語が話せるようにする。」を実現してまいります。

*2: ユーザー数は、当社の英語サービスすべてのユーザー数を記載

■「英語教育 3.0」とは

読み書きが中心だった従来の「英語教育 1.0」

課題は「話す」がほとんどないことでした。

その課題に対して私たちは、オンライン英会話を提供する事によって解決してきました。

結果、オンライン英会話は世の中に広まり、英語を大量に話す場は圧倒的に増えました。

これが「英語教育 2.0」です。

しかし、英語教育における課題はまだ残っています。

私たちは、英語教育 2.0 における課題を解決し、日本人 1,000 万人を英語が話せるようにするために、新たな波となる「英語教育 3.0」を作り上げていきます。

■ 提供サービス

- ・[個人向けオンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」](#)
- ・[「レアジョブ英会話」法人向けサービス](#)
- ・[法人向け「レアジョブ英会話留学」](#)
- ・[「レアジョブ英会話」教育機関向けサービス](#)
- ・[2ヵ月短期集中英会話プログラム「レアジョブ本気塾」](#)
- ・[レアジョブ英語学習アプリ「RareJob Apps」](#)
- ・[英語を手段にチャンスをつかむためのメディア「RareJob English Lab」](#)
- ・[英語の価値を見つけるプロジェクト「WHY ENGLISH」](#)

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社レアジョブ 文教事業部 田形

メール : school@rarejob.co.jp TEL : 03-5778-3101 / FAX : 03-5468-7402